

# しらかば

第95号

令和7年  
(2025年)  
7月



公益財団法人 北海道対がん協会

北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15 Tel (011) 748-5511 Fax (011) 748-5512 <https://www.hokkaido-taigan.jp/>

北海道対がん協会ホームページ

## AMED研究費によって行われる臨床研究について

会長  
加藤元嗣

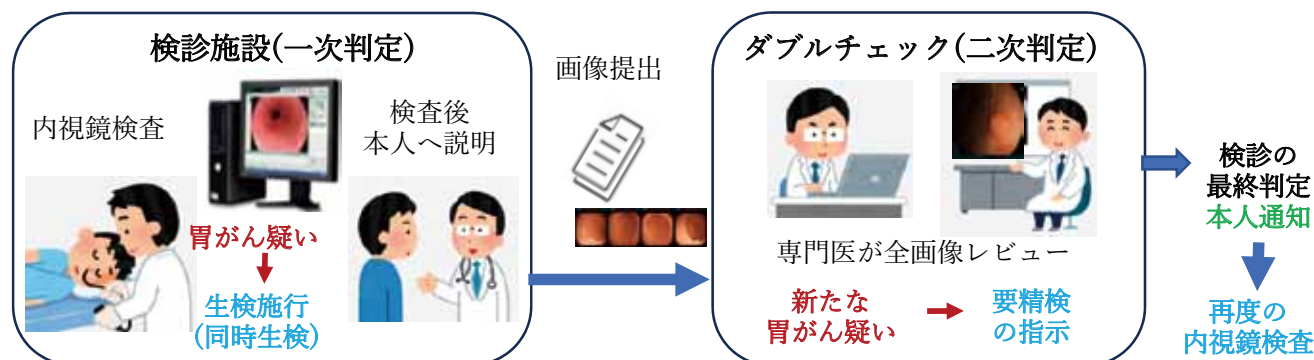
AMEDは国立研究開発法人日本医療研究開発機構の略称です。これまでの公的研究費は文部科学省、厚生労働省、経済産業省がそれぞれ独自に担っていましたが、医療分野の研究開発の基礎から実用化までの推進体制を整備するために、2015年4月に創立されました。年間約2500課題に対して約1600億円の研究費が使われていますが、採択率は約20%と報告されています。

2025年度の領域「革新的がん医療実用化研究事業」の公募名「予防法や新たな検診手法の実用化をめざした大規模疫学研究」に、私が研究代表として研究課題を応募して採択されました。研究開発課題名は「胃がん内視鏡検診でのAI併用が胃がん検出率を上昇させ、ダブルチェックの負担を軽減できるかの検証」です。研究費は年間約3千万円で3年間で約9千万円です。この研究の目的は、胃がん内視鏡検診でAI（人工知能）を使うことで、ダブルチェックの負担を軽減できるかを調べるものです。内視鏡検査でのAIはすでに日本国内では認可され、上部消化管内視鏡検査用として

2機種が臨床で既に使用されており、内視鏡診断の手助けとなっています。

この研究を理解してもらうために、まず通常の胃がん内視鏡検診の流れを説明します。胃がん検診は現在、バリウムを使った胃X線検査と内視鏡検査が推奨されていますが、内視鏡検査は図のように2段階で行われます。まず各検診施設で受診者に内視鏡検査を行います。検査中に胃がんを疑う病変を認めた場合には、診断確定のために病変から組織の一部を採取（同時生検）して病理検査（保険診療扱い）に提出して後日病理診断が確定します。これが内視鏡医の一次判定となります。後日、別の専門医が検査中に撮った画像をすべて見直して、見逃し病変がないかをチェックします。これをダブルチェックと呼び、別の医師による二次判定となります。ダブルチェックで新たな胃がん疑いが認められた場合には要精検の指示が出され、精密検査として再度の胃内視鏡検査を受けてもらいます。受診者本人へは二次判定終了後の最終判定が結果として通知されることになります。しかし、この検診の結果通知より、同時生検を施行した場合には、確定した病理結果の方が早く本人に通知されるのが通例です。

この研究ではAI併用した内視鏡検査の一次判定結果と通常の内視鏡検査の一次判定にダブルチェックによる二次判定を加えた結果でのがん発見率を比較します。すなわち、医師1名とAIで診断する場合と、医師



2名で診断する場合の両者を比較します。もし両者のがん発見率に差を認めなければ、ダブルチェックによるがん発見の上乗せ効果を認めないことになります。そうすると内視鏡検査時にAI併用を行うことで、ダブルチェックは不要になると考えられます。

ダブルチェックは精度管理としては重要であるものの、ダブルチェックの実施には医師への多大な負担と膨大なコストが問題となっています。専門医の少ない自治体ではダブルチェック体制の整備ができないことが、内視鏡検査の導入ができない理由になっています。ダブルチェックが不要となれば、全国隅々に内視鏡検査が普及することが期待できます。また、胃内視鏡検査の胃がん発見率は胃X線検査の2～3倍高くなっています。

この研究は北海道・東北の6つの検診施設（北海道対がん協会札幌がん検診センター、北海道対がん協会旭川がん検診センター、青森県総合健診センター、岩手県対がん協会矢巾診療所、宮城県対がん協会、秋田

県総合保健事業団）が参加します。約3年かけて1万1千人の胃がん内視鏡検診受診者の登録が必要となります。方法はまず参加者を無作為に2グループに分けます。通常の内視鏡検査かAIを併用した内視鏡検査のどちらかのグループになりますが、両グループともAI併用以外はダブルチェック、同時生検などすべて通常と同じ方法を行います。参加者には個別にどちらのグループに入ったかはお伝えしませんが、通常どおりダブルチェック後の最終判定が通知されます。

前述したとおり、参加することで皆様に新たな検査や負担をお願いすることはありません。また、参加していただいても新たなリスクは生じません。通常どおりの胃がん内視鏡検診を受けていただけます。ご協力をいただいた方々の内視鏡画像の読影において、医師1名とAIの場合、医師2名の場合の両者を比較するだけです。ご協力いただける方に同意書にサインをしていただくだけです。胃がん内視鏡検診の受診者の皆様方には、是非、この研究へのご協力をお願いします。

## 胃・肺併用X線デジタル検診車 「しらかば204号車」の 機器載せ替え整備事業を実施しました！

公益財団法人北海道対がん協会は、老朽化した胃・肺併用検診車の長寿命化を図るため、この度、公益財団法人JKAの「競輪公益資金による補助事業」により、整備事業費4,950万円のうち、3,712万5千円の補助を受け、令和7年3月7日に、胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号車」の機器載せ替え整備を実施し、旭川がん検診センターに配置しました。

この検診車は、最新のデジタル撮影装置を搭載しており、画像の歪みやムラがなく鮮明になり、読影の精度が良くなることから、胃がん及び肺がんの早期発見が期待できます。

北海道対がん協会では当該検診車を含む20台の胃・肺併用検診車を用いて、北海道内を隈なく巡回し、北海道民の健康の保持増進に努めます。



# 就任ご挨拶



札幌がん検診センター  
事務長

**竹原 英正**

本年4月から、札幌がん検診センター事務長として勤務することになりました竹原です。これまで北海道職員として主に保健福祉関係の業務に従事し、退職

後は道南の精神科病院に勤務しておりましたが、この度ご縁があり、検診センター勤務の機会をいただきました。

北海道はがんによる死亡率が高い状態で推移しておりますが、人口減少の進展、コロナ感染症等の出現、経済の悪化など、近年、がん対策を進めていく上で厳しい状況が続いております。もとより微力ではありますが、皆さんにご協力いただきながら、少しでも対がん協会の取組みが進んでいくよう努力して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



札幌がん検診センター  
内科 主任医長

**加賀谷 英俊**

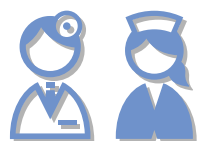
本年の4月より赴任いたしました加賀谷です。

私は小樽生まれ、昭和61年卒で、北大第3内科入局、その後、市立稚内病院、愛育病院、医局10年間、さらに恵佑会札幌病院3年間、早期食道癌粘膜切除、

北海道消化器科病院では21年間となりました。消化管検査、早期癌の診断、内視鏡治療、外科手術前検査診断、根治切除不能な進行癌の化学療法～緩和治療、また急性腹症、消化管出血、腸閉塞、肝胆脾疾患も頻回でした。2年前に、突然体調を崩し、検査入院、針穿刺生検で、とてもビビりました。患者様の立場、気持ちを痛感、通院治療に、今後の不安を覚えました。

検査予定、説明、同意後からの不安、恐怖は、検査台上で最大、実際に苦痛が少なく、安心、正確な診断は、当然である事が、身に沁みました。

微力ながら、経験を活かし、受診者様に寄り添い、信頼される検査の提供に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 令和7年度 新入職員紹介



経営管理部 総務課  
主任

**川崎 由起子**

他業種より転職してきました。総務課の業務は多岐に渡り覚えることが山積みですが、初心を忘れず1日でも早く協会に貢献できるよう努めて参ります。皆さまご指導のほどよろしくお願いいたします。



札幌がん検診センター 事業管理課  
主任運転技術員

**秋田 好胤**

令和7年4月から主任運転技術員として採用になりました。運転の資格を生かすとともに、検診業務もしっかりと出来るよう日々努力していきたいと思ひます。



札幌がん検診センター 事業管理課  
主任運転技術員

**岩本 宏樹**

昨年8月より入職致しました。まだまだ分からないことが多々ありますが、徐々に覚えて、協会の一員として貢献できるように頑張っていこうと思ひます。よろしくお願いいたします。



札幌がん検診センター 施設検診課  
主任

**岡村 茜**

市町村担当となりました岡村と申します。大変なことも多くありますが、一日でも早く慣れて協会へ貢献できるように努めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



札幌がん検診センター 巡回検診課  
主事

**熊谷 健太**

受診者様が安心して検診を受けられる環境づくりを考え努めてまいりたいと思ひます。



札幌がん検診センター 巡回検診課  
保健師

**佐藤 結姫**

一日でも早く業務を覚え、対がん協会の一員として人々の健康保持増進に貢献できるよう頑張ります。

|                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>札幌がん検診センター 看護科<br/>主任看護師<br/><b>瀬 来 和 恵</b></p> <p>検診に来られる方の緊張を少しでもほぐすようなかわりを心掛けたいと思っています。幅広い知識をもって対応できるように頑張ります。</p>                                       |  <p>札幌がん検診センター 放射線技術部<br/>放射線技術科 診療放射線技師<br/><b>中 原 羽 菜</b></p> <p>早く仕事を覚えて、対がん協会に貢献できるように頑張ります。</p>                                    |
|  <p>札幌がん検診センター 臨床検査部<br/>検査科 主任臨床検査技師<br/><b>金 子 恵 理 子</b></p> <p>これまでの経験を活かし早く慣れて受診者さまの一助になれるように、また、新しいことにも取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願いします。</p>                    |  <p>札幌がん検診センター 臨床検査部<br/>検査科 臨床検査技師<br/><b>國 分 里 華</b></p> <p>対がん協会の一員としての自覚・責任を持ち、丁寧な業務を心掛けていきたいと思っています。</p>                           |
|  <p>旭川がん検診センター 放射線科<br/>診療放射線技師<br/><b>山 崎 菜 々 美</b></p> <p>受診者の方に少しでも安心して検査を受けてもらうために正確で迅速な撮影を行いより良い検査を提供できるよう精一杯頑張ります。</p>                                    |  <p>旭川がん検診センター 検査科<br/>臨床検査技師<br/><b>辻 奈 菜 美</b></p> <p>1日でも早く業務を覚え、受診者様が安心して検査を受けられるように取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。</p>                |
|  <p>旭川がん検診センター 検査科<br/>臨床検査技師<br/><b>樋 口 あ お い</b></p> <p>受診者様が安心して検査を受けられるよう誠心誠意業務に取り組み、対がん協会に貢献していきたいです。よろしくお願いします。</p>                                     |  <p>釧路がん検診センター 総務課<br/>主事<br/><b>樋 口 心 美</b></p> <p>皆様にご迷惑をお掛けしないようにいち早く業務を覚え、丁寧かつスムーズに業務を果たせるよう、精進して参りますのでよろしくお願いします。</p>            |
|  <p>釧路がん検診センター 検診課<br/>運転技術員<br/><b>鬼 山 は づ き</b></p> <p>検診課運転技術員として、運転技術は勿論のこと各課と協力・連携を図りより良い検診を目指し続け目標を持ち、機転の利く職員となれる様、職務に従事していきます。よろしくお願いします。</p>          |  <p>釧路がん検診センター 検査科<br/>臨床検査技師<br/><b>荒 井 優 菜</b></p> <p>受診者様が安心して検診を受けられるように、ひとつひとつの業務を丁寧に取り組んでいきたいと思っています。一日も早く業務を覚え、責任をもって励みます。</p> |
|  <p>釧路がん検診センター 検査科<br/>臨床検査技師<br/><b>林 裕 希</b></p> <p>まだ入職したばかりで仕事を覚えるのが大変ですが、1日でも早く覚えて受診者さんに安心して検査を受けてもらえるように仕事をがんばっていききたいです。また細胞検査士の資格も取りたいので勉強もがんばります。</p> |                                                                                                                                                                                                                           |





## 企業との連携 リボンの願い事業

# 「ピンクリボン活動支援自動販売機 2024年度寄付金贈呈式」を開催しました！



当協会は2010年に、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と「ピンクリボン運動の推進に関する協定」を締結し、「ピンクリボン活動支援自動販売機」設置先様のご協力のもと、売上金の一部を北海道対がん協会へ寄付していただく仕組みを作っています。協定の締結から15年が経ち、支援自販機は全道に約150台、2024年までの累計寄付金額は2千5百万円を突破しました。

2025年3月12日（水）には、大通ビッセにおいて2024年度寄付金贈呈式を開催しました。2024年度の寄付金は1,982,505円であり、北海道コカ・コーラボトリング株式会社の酒寄正太代表取締役社長から当協会の加藤元嗣会長に目録が手渡されました。また、支援自販機設置先の代表者様も13名出席され、当協会会長から感謝状をお渡ししました。

いただいた寄付金はこれまで、「コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアー」や検診車に搭載する乳房超音波検査機器の購入費用、普及啓発用グッズの作成等、道民の乳がん検診受診率向上に活用させていただいています。

乳がんは、早期発見できれば生存率が高いがんですので、多くの道民の皆様は乳がん検診を受診していただきたいと考えていますが、北海道の乳がん検診受診率は未だ全国平均に届かない状況が続いています。

乳がんは、日本人女性の9人に1人が罹ると言われ、全国・全道共に女性が罹るがんの中で一番多くなっています。30歳代から増え始め、40歳代後半と70歳代前半にピークがあり、幅広い年代の女性にとって身近な病気と言えます。自分の身体に関心を持ち、日頃から自分の乳房に変化がないかチェックする習慣をもちましょう。そして、2年に1回の乳がん検診を忘れずに受診してください。



## 第55回がん予防道民大会in千歳 を開催します！

がん予防道民大会は、道民へのがんに関する正しい知識の普及啓発を目的として、北海道・開催市町村・（公財）北海道健康づくり財団・（公財）北海道対がん協会の4者共催により、昭和40年から毎年道内各地で開催しています。今年は千歳市で開催しますので、多くの道民の皆様のご参加をお待ちしております（入場無料）。

日時：令和7年10月23日（木）13：00～16：00

場所：北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

### 特別講演

「がんの免疫予防について  
～脳活・筋活・腸活のすすめ～」

札幌医科大学 名誉教授

鳥越俊彦氏



### 健康講話

「足し算で生きる  
～がんステージ4からの生還～」

フリーアナウンサー

笠井信輔氏



★申込方法などの詳細は、後日ホームページに掲載予定です。オンライン配信も予定しています。